レジメン名	DLd療法(7コース目以降)				
対象がん種	多発性骨髄腫	対象患者		催吐リスク	軽度
				1コースの日数	28
				投与予定回数	
内服抗がん剤の有無	あり			投与回数上限	
※有の場合薬剤名	レブラミド				

副作用情報（頻度が高い、特徴的な副作用など）			
項目		頻度(%)	対処法(減量・中止など)
血液毒性	好中球減少	59.4%	休薬、減量（レナリドミド）
	血小板減少	26.9%	休薬、減量（レナリドミド）
	リンパ球減少	6.0%	
その他	Infusion reaction	77.4%	予防薬の使用、中断、中止など
	感染症	86.3%	予防薬の使用、中止など
	間質性肺疾患	0.7%	

レジメン内容（支持療法を含む）**(再発・難治性多発性骨髄腫)**

					day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度・時間	投与時刻(必要時)																											休薬完了
1	生食	50ml	点滴静注	100ml/h		●																										
2	生食 デキサート ボララミン	50ml 16.5mg 5mg	点滴静注	500ml/h	ダラザレックス開始	●																										
3	生食	50ml	点滴静注	50ml/h		●																										
4	ダラザレックス 生食	16mg/kg 500ml	点滴静注	開始～1時間：100ml/h 1～2時間：150ml/h 2時間以降：200ml/h		●																										
5	生食	50ml	点滴静注	100ml/h		●																										

内服抗がん剤・支持療法薬**(再発・難治性多発性骨髄腫)**

Rp	薬剤名	投与量	用法		day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	レナリドミド	CrCL 61mL/min 以上：25mg、CrCL 30～60mL/min：10mg				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
2	デキサメタゾン	20mg（75歳を超える又は過少体重（BMI：18.5kg/m2未満）の患者にはデキサメタゾンを20mg/週で投与することを可とする）					●																									
3	デキサメタゾン	40mg（75歳を超える又は過少体重（BMI：18.5kg/m2未満）の患者にはデキサメタゾンを20mg/週で投与することを可とする）	day8~14のいずれか、day15～21のいずれか、day22～28のいずれか											●							●							●					
4	アセトアミノフェン	650～1000mg	ダラザレックス開始1～3時間前			●																										
5	高尿酸血症治療薬					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	感染症予防薬					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	静脈血栓塞栓症予防薬					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●